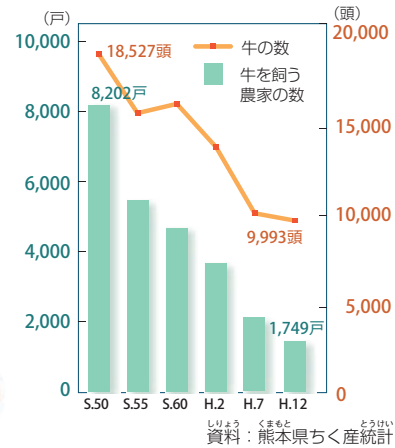


げんしょう 減少する草原



草原に行って気になったことがあります。緑の草原の中に、時々茶色のままの草原があるのです。

●牛を飼う農家の数と牛の数



あそこだけ、茶色の草がのびているよ。まわりにくらべて、きちんと手入れされていない感じだね。

まさかずくんのおじいさんが、農業やちく産業で働く人が減っていると言っていたよね。

そういえば、おとうさんやおかあさんが子どものころには、家で牛を飼っていたって言ってたな。今でも、家には牛のえさを入れていたおけが残っているよ。

草原が荒れていることと、農家が減っていることは、関係があるのかしら。



農業を営む人や放牧される牛の数が減ると、草があまり使われなくなります。野焼きなどの作業を行う人手も足りなくなり、草原を管理できなくなっていくます。そして、管理されなくなった草原は、荒れてヤブになってしまいます。

写真を見て感じたことを書いてみよう。

昔と比べて、必要とされる草の量が減っています。

昔は、どこの家の屋根も「カヤぶき屋根」といって、カヤ(スキヤオギ)が使われていました。そのため、草原に行って草を刈り、たくさんのカヤを手に入れていました。今では、かわらなどの工業製品による屋根がほとんどで、そのぶんだけ、草原の草が必要なくなったということです。



今ではめずらしくなくなったカヤぶき屋根の家

ほかにどんなところで草の利用が減ってきているかな？ 思いつくことを書いてみよう。

メモ

思いつくことを書いてみよう。

草の利用が減り、管理が行き届かなくなって草原が減少すると、どんなことが起こるでしょうか。みんなといっしょに考えてみましょう。

草原に住んでいる、鳥や動物たちが困るんじゃないかな？



ヒバリ

阿蘇でしか見られない植物が絶めつしてしまうかもしれないよ。



ツクシマツモト

メモ

他に考えられることを書いてみよう。



ヤブが増えると、広い草原をじまんできなくなっちゃうよ。

いろいろと困ったことが起こることがわかりましたね。では、これらの問題を解決するには、どうすればいいでしょう。